

令和5年7月24日

関係者各位

令和5年度・学校関係者評価委員会

学校法人高知理容美容学園  
高知理容美容専門学校

高知理容美容専門学校評価委員会は、令和4年度自己評価報告書に基づいて学校関係者による評価委員会を開催致しました。教育内容および関係業務の現状を点検して、更なる改善、向上を図っていくために自己点検・自己評価に取り組み、学校評価報告書として取り纏め、学校に関係のある方々との具体的な意見交換を通して、本校の教育活動等について検証・評価及び助言等いただきましたので、以下の通り報告致します。

1. 日時 令和5年7月24日（月） 10時30分～12時00分

2. 場所 高知理容美容専門学校 本館1F

3. 学校関係者委員（敬称略）

一ツ松 はつみ	美容店経営	（卒業生代表）
今城 美紀	美容店経営	（地域代表）
高橋 芳太郎	美材商	（関連業界）
脇田 真司	訪問美容経営	（関連業界）

4. 学校側

校長	近藤 邦夫
事務長	増田 栄司
理容科長	清藤 千秋
美容科長	高野 敏彰
美容科主任	斎藤 千里

5. 委員会次第（概要）

①開会

②委員長（議長）選出・進行

③学校長挨拶

委員の交代がありましたので新委員のご紹介

④学校長より本会開催についての説明

⑤学校長・教務主任・事務長より自己点検・評価についての説明

## 6. 実施内容

本会の開会宣言があり定刻に開会した。

会次第に沿って、委員長である校長、教務主任、事務長から事業報告に続いて各自己点検項目ごとに評価、改善点等を説明しました。各評価委員には、事前に自己点検・評価報告書及び学校評価に関する資料等を配布させていただいた上でご意見等をいただき、取り纏め致しました。

## 7. 学校関係者評価委員からの助言等

### (1) 教育理念・目標

- ・養成施設として全員が国家試験合格をしてもらうことを大きな目標ではありますが、一人ひとりが将来の職業に繋がる技術の修得をして、社会人としての自覚を備えた理・美容師になってもらいたい思いで、職業実践授業を積極的に進めている。そうした事もあり美容科は2年次の選択コースを本年度から3コースから5コースを増やして、多様なニーズに対応できるようにした。【委員了承】

### (2) 学校運営

- ・毎年、「学校運営計画」を策定、重要事項を中心に職員会にて教職員と目標等の共有化を行っている。又、学校の諸規程について内容を検証しながら現代版に見直しなど進めている。教育活動等に関する情報についてはホームページ、SNS などを通して発信している旨説明。【委員了承】

### (3) 教育活動

- ・実践的な職業教育の視点に立って、関連業界と連携したカリキュラムを通して、一人ひとり強みを付けれるように取組みをしている。
- ・教職員の能力開発、向上等のために外部研修参加や外部講師による教職員研修を毎年行っている。【委員意見】

### (4) 学修成果について

- ・就職に関しては、校内3回及び校外1回のサロン説明会に参加させることで意識付けを行い、就職希望者100%の内定を目指しています。令和4年度実績は県内7割、県外3割の就職状況でした。又、各種の資格検定等の取得については1年次から積極的に学習機会を作って、各種の資格検定取得に向けて取り組んでいます。
- ・学校経営に影響する重要なテーマである「休退学問題」に関しては、日々の学生の状況把握に努めながら、保護者との連携を踏まえて防止に努めています。日々の登校に問題がある学生も散見されるが、一人ひとりに自信の目標をしっかりと持って学校生活をおくるようにコミュニケーションをとっている。
- ・国家試験に関しては、この2年間はコロナ感染者や病気で未受験者を除いて受験全員が合格を勝ち取っている。

【質問・回答など】

- ・退学理由としてどのような要因があるのですか。[高橋委員]
- ・一人ひとり退学していく理由、背景が違ってはいます。高校時代に毎日の登校習慣のない場合、朝起きれず遅刻・欠席が多くなり、結果、授業の遅れが生じて退学に繋がる場合。しっかりとした将来の目標がなく、漠然と入学してきている場合に、明確な目標が定まるまでにバイトの方が面白くなり遅刻・欠席が増えて退学に繋がったりする場合。又、友人関係がぎくしゃくして、悩みの整理がつかなくなり退学してしまう場合。最近は日常的に SNS を活用している中で、うっかり個人批判ともとれる場合もありキズを大きくして、友人関係が修復せずに退学する場合もあり、想定外のことが多々あります。[校長]

(5) 学生支援

- ・就職に関する支援体制はサロン説明会の自校開催を行っており、又、就職担当者により各サロン訪問に加えて、学生への個別指導など体制が定着してきた。
- ・学生に対する経済的支援体制については「入学時0円サポート」の導入により学費の分納を実施している。遠隔地出身の学生には「一人暮らし応援、引っ越し費用応援等」の支援を行っている。
- ・経済的な支援体制は文部科学省の「高等教育修学支援制度」の認定校となっています。全体の利用率は6~7割が奨学金を利用して経済的事情を抱えている学生が増加。

【質問・回答など】

離職率はどのような状況ですか。[高橋]

R3、R4の県内離職率は減少傾向になっています。[増田]

(6) 教育環境について

- ・建物やその他設備等の経年劣化、老朽化により毎年、計画的に改善に向けて対処している。
- ・防災に関する訓練は毎年1・2年生合同で行っているが、有事想定計画書の策定などまだ課題があります。【委員了承】

(7) 学生の受け入れ募集

- ・生徒募集については高知県内の18歳人口の減少が学校経営に大きく影響してくるのか計り知れない。  
高知県内でトータルビューティを含め、理・美容分野を希望している18歳の市場規模は100名規模と思われ、県内、県外の進路割合は年によって変動している。

**【委員意見】**

- ・OCの参加人数はどの位ですか。[高橋委員]
- ・昨日開催したOCには35名程度の参加者がありましたが、近年は保護者も一緒に来校して、奨学金説明を希望するケースが増加している。[増田]

**(8) 財務**

- ・財務状況は生徒募集、教職員の増減により大きく影響を受けるが、最近では比較的安定した学生募集の実績を残せており財務面も安定基調にある。  
又、教職員の適正化についても、学生数とのバランスが図れてきた。

**【委員了承】**

**(9) 法令等の遵守**

- ・専門学校設置基準や養成施設指定規則など関係法令を遵守、共有化して適正に運営をおこなっているが、まだ業務に関する法令等を理解していない状況が散見されるので足元を固めるための職場研修を進めて行きたいと考えている。

**【委員了承】**

**(10) 社会貢献・地域貢献**

- ・ボランティア活動は教育活動の一環として実施していきたいと考えているが、新型コロナウイルス感染拡大している状況でしたので実施していない。学生アンケートでも半数の学生はボランティア活動を希望している。
- ・地元貢献の一環として万々商店街での「よさこい祭り」のお手伝いを8月の学生技術大会四国予選に参加する選手以外の学生中心に行うことを検討していく。

**【閉会】**

終わりに、校長から各委員へ貴重なご意見、助言に対してお礼の挨拶を申し上げ、本会閉会宣言があり本会を閉会した。